

世界のソーシャル・ビジネス

北米編
米国衣料のリユース
5年で7千万点

ブランド衣料などの中古オンラインショップ、スレッドアップ(本社・米サンフランシスコ)が、J.C.ペニーなど有名百貨店やブランドなどのパートナーシップを積極的に進めている。すでに5年間で7千万点に上る衣料リユースの実績を上げたが、今後はさらに商品の仕入れを強化し、衣料ゴミの削減を目指す。(クロードイヤー・真理)



J.C.ペニー内に設けられたスレッドアップのコーナー

ゴミとして廃棄される衣料の量は世界全体で年1300万トにも上る。スレッドアップは「服を購入する際にはまずセカンドハンドのものを買うことを考慮してほしい」と、消費者にファッションのあり方の再考を呼びかける。

米国では女性所有の衣料の60〜70%がタンスに眠っているといわれる。同社はそれらを回収し、再販する。使われていない衣料を再流通させるのが狙いだ。

未使用か、新品同様のブランド品などの高品質の商品を常に200万着近く用意。割引も最高で正価の90%オフだ。再販希望者は同社から「クリンアウト・キット」と呼ばれる袋を取り寄せ、それに衣類を入れ、返送するだけ。送料は無料だ。

商品が売れたら、商品を提携した人は再販価格によって決められている割合の分だけ現金か同ネットで使用できるクレジットとして受け取る。

Upcycle Your Clothes in 3 Easy Steps



ORDER A CLEAN OUT KIT

Fill it up with high-quality clothing, handbags, shoes, and accessories from any brand.



SEND IT OFF

Leave your bag for your mail carrier or drop it off at any FedEx Office or USPS location.



SIT BACK AND RELAX

We do the work! We inspect, photograph, list, and ship your items for you.

うち5米ドル(約550円)を慈善団体に寄付できるオプションもある。

百貨店とも連携へ

スレッドアップは自社のネット運営に加え、小売業者に、「リセール・アズ・ア・サービス(R.A.A.S)」というプログラムを提供し、再販商品を購入する顧客との橋渡し役を行う。プログラムには3つの方法があるが、特に需要が高いのが、小売業者のポイントプログラムとのタイアップだ。R.A.A.Sを通し、同社は今まで入り込めなかった有名百貨店に進出した。J.C.ペニー

商品の写真撮影など、再販に伴う煩わしいことはスレッドアップが請け負うため、より多くの服を集めることができる(スレッドアップのウェブサイトから)

の30店舗に売り場を確保し、女性用のアイテムを販売。そこでの買物でも、顧客はJ.C.ペニーのポイントプログラムのポイントを得られる。また、アパレル業界においてサステナビリティを推進する企業に資金を援助するための基金を設立したり、再販を前提にデザインされた新しいアパレル商品のブランドを立ち上げたりと、工夫を凝らす。同社の調査によれば、2018年現在、再販衣料市場は5年前の2倍の伸びを見せる。市場規模拡大の速度は小売業の2倍以上だという。サステナブルなアパレルの購入の意思がある消費者は72%に上るが、高価格が原因で見合わせる傾向があった。しかし、64%の女性が「再販衣料の購入経験がある・購入したい」とするようになり、再販衣料はサステナブル・ファッションの選択肢の1つとなりつつある。